

実施期間（令和4年7月～）

- ◆ 受診対象者 422名
- ◆ 受診者 422名

以下の方々は受診対象者に含んでいません

- * 役付役員
- * 出向者
- * 産休・育児休業
- * 長期休暇取得者

令和5年度も夏に実施予定です。
社員の皆様は、受診が義務となっていますので、今年も必ず受診をお願いいたします。



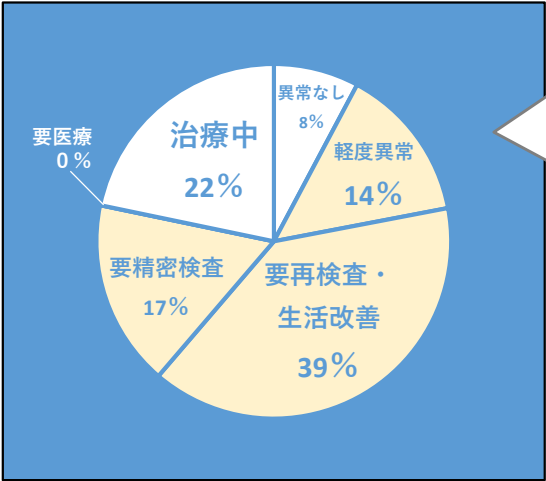
受診率100%を達成しました！

＜会社全体の健診結果を掲載します！＞

有所見者...健診結果に所見が見られる方（軽度異常・要再検査/生活改善・要精密検査・要医療の方）

令和4年度健康診断結果	
異常なし	28名
軽度異常	51名
要再検査・生活改善	141名
要精密検査	61名
要医療	0名
治療中	78名

※結果の表示様式が異なるため本社・名古屋会場を受診した方のみで算出



健診結果に所見が見られる方の割合（有所見率）は70.4%の結果となりました。

また、全国平均の58.8%と比較すると、当社の有所見率は高い水準となっています。

＜検査項目別の有所見率＞

単位（％）

全国平均※より有所見率が高い項目
※令和2年度定期健康診断結果報告（厚生労働省）より

検査項目	令和4年度	令和3年度	全国(2020年)
オーゾオ(1000Hz)	1.9	1.4	3.9
オーゾオ(4000Hz)	3.9	5.6	7.4
胸部X線	2	1.9	4.5
血圧	26.2	27	17.9
貧血	10.6	14.3	7.7
肝機能	12	13	17
血中脂質	27.1	34.6	33.3
血糖	15.2	13.5	12.1
尿糖	6.5	5.7	3.2
尿蛋白	2.1	3	4
心電図	14.4	12.4	10.3

※結果の表示様式が異なるため本社・名古屋会場を受診した方のみで算出

血圧や貧血、血糖、尿糖、心電図の5項目について、有所見率が全国平均よりも高い結果となりました。さらに、血糖・尿糖・心電図の項目は令和3年度より悪化しています。

高血圧や脂質異常、高血糖は症状に自覚がないことが多いですが、放っておくと、命にかかわる生活習慣病に発展する恐れがあります。例えば、内臓脂肪型肥満に、これらの症状をあわせ持った状態のことをメタボリックシンドロームといいます。放置すると動脈硬化が進行して心臓病や脳卒中の危険が高まります。

生活習慣病リスクのチェックシートも別途添付しています。ぜひセルフチェックをし、ご自身の生活習慣を振り返るきっかけにしてみてください。

下記からもダウンロード可能です
(日本生活習慣病予防協会HP, <http://www.seikatsusyukanbyo.com/tool/>)

＜（再検査）報告書 提出率/受診率＞

報告書	令和4年度	令和3年度
提出率	約93%	約88%
受診率	約72%	約77%

※報告書を提出された方で、再検査項目について既に治療を開始されているなど、再検査等報告書の提出が出来ない特別な事情がある場合は、未受診報告書を提出するため、提出率には含むが、受診率からは除く。

健診結果の活用ポイント

■ 1、検査数値の経年変化を見る

年に一度は健診を受け、各検査項目の数値が過去からどのように推移しているかをチェックして、自分のからだの変化を確認しましょう。また健診結果はファイルに綴じるなどして保管しておきましょう。

■ 2、動脈硬化リスクの重複をチェック

検査項目1つずつ見るだけでなく、複合的に検査項目の結果をみて、肥満・高血圧・脂質異常・高血糖などの動脈硬化リスクが重複していないか否かもチェックしましょう。

■ 3、検査数値の原因を自分なりに振り返る

検査結果がよかった人もよくなかった人も、なぜよかったのか、なぜ悪かったのかの原因を自分の生活習慣から見つけましょう。悪かった人はそれを改善し、よかった人はそれを継続するよう心がけましょう。

■ 4、生活習慣の改善成果をみる目安にもなります

これまでの努力の成果を確認し、あらためて医師や保健師等に相談するきっかけになります。

■ 5、「早期発見、早期治療」のチャンス！

要精密、要治療と診断された方は、なるべく早く医療機関へ受診しましょう。

(全国健康保険協会HP, <https://www.kyouseikaikenpo.or.jp/g4/cat410/sb4020/katuyoupoint/>)